

古都奈良の
優婉^{ゆうえん}に咲く
八重桜

奈良を観る

～奈良女子大学コレクション～

2023
1/11^水～1/22^日

奈良市美術館
NARA CITY MUSEUM of ART



開館時間 午前10時～午後5時30分(入館は午後5時まで)

休館日 1月16日(月)

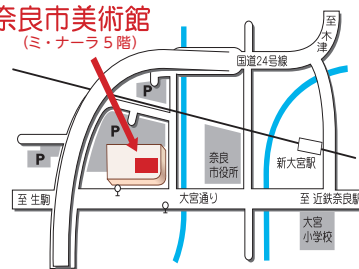
作品解説 1/14(土)・1/21(土) 午後2時～

住所 〒630-8012
奈良市二条大路南一丁目3番1号(ミ・ナアラ 5階)
TEL 0742-30-1510

アクセス ■近鉄「新大宮」駅下車西へ徒歩約12分
■「新大宮駅」・「近鉄奈良駅」・「JR奈良駅西口」
から奈良交通バス「宮跡庭園」下車すぐ
■お車の場合はミ・ナアラ駐車場をご利用ください。

入場無料

奈良市美術館
(ミ・ナアラ 5階)



1

市民の文化に対する意識の高揚に関すること

本展は、新型コロナウイルス感染予防対策を実施したうえで開催します。
新型コロナウイルス感染状況により入場制限や展覧会・作品解説を中止する場合があります。

主催：奈良市、奈良市美術館(一般財団法人奈良市総合財団)



協力：奈良女子大学



独逸製玩具 熊ノ自転車乗

教員養成学校の役割があった奈良女子高等師範学校(通称:女高師)。教育教材としてたくさんの玩具が購入された。本資料は昭和2年に購入したドイツ製のおもちゃである。最先端の教育を目指した様子がよく伝わる一品。

正倉院模 こう せ ばちのしやく 紅牙機鏝尺

正倉院の宝物を、材料はもちろん製作技法に至るまで忠実に再現したもの。作者は東大寺近くに住んでいた吉田包春。多くの模造品を有する本学はまるで第二の正倉院!

奈良を観る

～奈良女子大学コレクション～



水鳥形埴輪

大正15年にやってきた水鳥の埴輪。日本一大きい大仙古墳がある百舌鳥古墳群出土のものを模して作られたと考えられる。考古学会第31回総会の記念品として配布。本学には榎本亀次郎より5円で納入された。



足踏み式ミシン やみ 125

洋裁教育のため欧米から輸入した3台のミシンのうちの1つ。脚が金属製であり、丈夫で厚い布も縫えたと考えられる。ギリシャ神話風の装飾も美しく、西洋文化を積極的に導入しようとした時代の影響が表れている。購入価格は現在で表すと約20万円!

奈良女子大学コレクション 出品資料一部

近代奈良の歴史や芸術文化に焦点をあて、奈良の奥深い魅力を「奈良を観る」と題して毎年、企画紹介しています。第9回目となる今回は、奈良女子大学が所蔵しているコレクションを取り上げます。奈良女子大学は、明治41年(1908年)、奈良女子高等師範学校をその前身とし、女子師範学校、高等女学校の女子教員の養成をすることを目的に設置されました。戦後は、「女子の最高教育機関として、広く知識を授けるとともに、専門の学術文化を教授、研究し、その能力を展開させること」を目的とし奈良女子大学が発足しました。

本展では、学校教材として購入された当時の玩具や考古学標本、正倉院に眠る宝物を名工・吉田包春^{よしだ ほうしゅん}(1878-1951年)が模造した工芸品など、大学に収蔵されてきた品々を紹介します。

～在りし日の奈良女が、今甦る～

